

岩手県の市町村合併が 公立小中学校の統廃合に与えた影響の研究

公共政策特別コース 中村 成

「平成の大合併」は、「平成」のわずか数年間に大量の市町村合併が成立したことをさして呼ばれるが、その特徴は、次の3点に整理される。すなわち、①人口小規模町村の大量減少、②大量の人口小規模町村の誕生と存続、③新設合併の圧倒的な比重である。これらは人口小規模町村が慎重に対応した側面が強いことを示唆しており、住民の「暮らし」、コミュニティ、地域の個性・特性を非常に重視したことが考えられる。

他方、市町村合併を推進した政府のその最大の目的は行財政基盤の強化であったが、現実には、財政力が弱い人口小規模同士の合併が非常に多く、この限りではメリットはそれほど大きくない。

このことから、「平成の大合併」のピーク期を2005年度あたりとすれば、それから15年以上が経過している現在、市町村合併の影響が問われてもよい。

行財政の目的別から両者の関係に焦点を当てると、農業、医療、教育などにおいて市町村合併は、直接、間接に、どれほど影響を与えているのか、その中で、人口小規模町村からアプローチすれば、教育における小中学校はコミュニティの核となっていることが多く、そのあり方への影響を明らかにすることは大きな意義がある。

このようなことから、本稿の目的は、市町村合併が公立小中学校の統廃合に影響を与えていたのか、与えていたとするならば、如何なる影響であったのかを明らかにすることである。

第1節においては、市町村合併と学校統廃合を関連付けた先行研究の整理と本稿のねらいについてまとめている。先行研究では、小中学校の統廃合が市町村合併と連動することなく検討されてき

たとする研究がある一方で、合併した自治体ほど、小中学校の統廃合が進んだとの研究がされていた。また、学校統廃合を平成の大合併と関連させてみる研究は、十分とは言えないとしていたことから、本研究を行う意義があるとしている。

第2節においては、全国の市町村合併と、公立小中学校の統廃合の関係性を明らかにするために、全国の公立小中学校の統廃合に関する統計から、現状を分析し整理している。全国の市町村合併と小中学校の減少時期が重複していたこと等から、市町村合併が何らかの形で、小中学校の統廃合に影響を与えていた可能性があること、ただし、その影響は限定的なものであったと述べている。

第3節においては、岩手県の市町村合併と公立小中学校の統廃合の関係性を明らかにするため、岩手県の公立小中学校の統廃合に関する統計から、現状を分析し整理している。岩手県の市町村合併と小中学校の統廃合時期が重複していなかったことや、合併市町村より非合併市町村の方が小中学校の統廃合が進展していたことから、市町村合併が学校統廃合に与えた影響があったとしても、限定的なものであったと述べている。

第4節においては、平成の大合併を経験した岩手県内の西和賀町及び久慈市において、合併により公立小中学校の統廃合に影響を与えていたのか、与えていたとすれば如何なる影響であったか具体的に分析し整理している。

西和賀町では、合併が小中学校の統廃合に影響を与えていた可能性はあるが、その影響の程度については、政府が主導した合併当時の財政的メリット等がほとんど活用されず、児童への教育効果の観点や保護者及び地域住民の理解を重視し

て進められたことから、相当限定されたものであったと述べている。如何なる影響等があったかについては、合併を契機に、小中学校の学校統廃合等の学校教育全体のあり方に関する町民等の課題認識が高まったとの影響や、合併により新たな町としての一体感が希薄化したことに伴い、学校統廃合に係る地域住民の理解を得るプロセスが長期化した可能性があったと述べている。

また、久慈市では、合併に係る法定協議会の場で小中学校の統廃合に係る協議が行われ、共通の課題認識が図られるとともに、合併直後から学校統廃合に係る議論が活性化していたことから、合併により小中学校の統廃合に影響を与えていた可能性があったと述べている。しかし、その影響の程度については、財政面よりも子供達への教育効果の観点や保護者及び地域住民への理解を重視

して小中学校の統廃合が進められたことから、相当限定されたものであったと述べている。なお、同市では、法定協議会の場で、学校のあり方を合併直前に合併自治体同士が議論することは控えるべきとの発言があったが、この背景として、学校統廃合という地域の高度でデリケートな課題を整理するには相当程度の期間が必要で、短期間での対応が求められた平成の大合併時期に整理することは困難と考えたことが推察されると述べている。

おわりにおいては、第4節までを踏まえてまとめられている。本稿では、平成の大合併は、小中学校の統廃合に影響を与えていたと考えられるが、その影響は相当限定されたものであったこと、それはつまり、短期間で様々な対応を求めた平成の大合併は、小中学校の統廃合に馴染まなかったと述べている。